



二か所のお地藏さん



貴崎には古くからお地藏さんが二か所あります。

ひとつは山陽電鉄 林崎松江海岸駅の隣にある北向き地藏尊(通称「駅前地藏」)、もうひとつは川崎重工の南側道路沿いにある「みがわり地藏尊」です。

このページでは、この二か所のお地藏さんをご紹介します。

北向き地藏尊(駅前地藏)

昭和27年頃に続いた台風がきっかけで、水の事故が続き亡くなった子どもも多くいたことから、当時の婦人会の方々が尽力され、子どもたちを守ってくれるお地藏様としてこの地に迎えたと言われています。



↑林崎松江海岸駅に隣接しています。



北向き地藏尊(駅前地藏)

みがわり地藏尊

第二次世界大戦が終末に近い昭和20年頃、陸軍機のエンジンの開発・製造を行う機体工場と試験飛行場を兼ね備えた川崎航空機(現・川崎重工業)明石工場では、何度も爆撃の目標になっていたため大勢の犠牲者が出ました。工場で働いていた大人たちだけでなく、学徒動員により全国より集められていた多くの少年少女たちもまた、尊い命を落としました。

空襲で命を落とした学徒動員と一般従業員の霊を慰めるため、近所の主婦たちが先導を切り地藏尊を建立しました。

昭和40年後半頃には、テレビや新聞で「十五・六歳の丸刈りで半袖の男の子の亡霊が頻繁に出た」と報道されたこともありましたので、こういった話をご存知の方もいるかもしれません。



みがわり地藏尊入口



みがわり地藏尊



今でも夏のお盆の時期になると、お地藏さんの前には季節の黄菊や白菊、干菓子が供えられ、手を合わせる人々が多く訪れています。

